

冬の女子向け公開講座

熔けるメタルで？アクセサリーを作ろう

平成 28 年 12 月 26 日（月）、本校ものづくりセンターにおいて、冬の女子向け公開講座「熔けるメタルで？アクセサリーを作ろう」（講師：技術職員 近藤さくら）を開講しました。小学 5 年生から中学 3 年生までの 9 人の女子生徒が受講し、鑄造でオリジナルアクセサリーを作りました。

現在、少しずつ増えているとはいえ、工学系、特に機械工学の分野で活躍する女性は非常に少なく、その原因のひとつにこれまで女性は機械工学に触れる機会が少なかったことがあるのではないかと考え、機械工学の鑄造という技術を使いアクセサリーを作る講座を開講しました。ものづくりの楽しさを伝え、機械工学に触れる機会を作ることを目的に行いました。

講座は、砂型を作り、減摩合金を溶かして砂型に流し込み、穴あけ、表面を紙やすりと研磨剤で磨き上げ、キュービックジルコニアや刻印で飾り付け、ネックレスやストラップに加工するという流れです。減摩合金とは錫を主材料とした合金で融点が 220℃と低いため、コンロの火で溶かすことができます。

磨き作業では、指を真っ黒にして楽しそうに表面を磨き上げる受講生が見られました。柔らかい金属であったため、磨いた成果が分かりやすく、どんどん綺麗になっていく様子が楽しかったようです。

約 20 種類のアクリルの原型から砂型を作ったので基本的な形は決まっているものの、ネックレスにするのかストラップにするのかの選択、穴の位置や角度、付けるキュービックジルコニアの大きさ、色、場所、刻印などを受講生が決めることによって世界にひとつだけのオリジナルアクセサリーを作り上げていました。中には炎の形として作った原型を上下逆さまにして葉っぱのようにするなど講師が思いつかないような作品もあり、素敵な作品の数々が出来上がりました。

自分だけのオリジナルアクセサリーの製作する鑄造体験を通じて、ものづくりの楽しさを伝えられたと思います。



講座の様子（砂型作り）



受講生の作品